



No.54

令和元年
6月1日発行

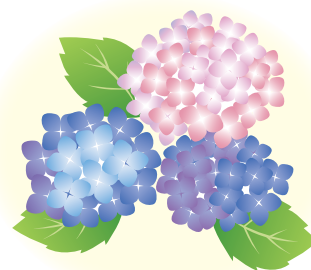
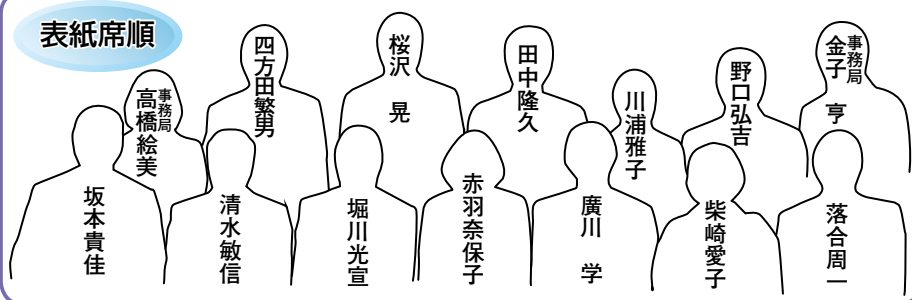
かみかわ町 議会だより

➤ 議会を傍聴しませんか？

第2回定例会は6月5日(水) [午前9時～ 一般質問等]
から13日(休)を予定しています。



表紙席順



「新議員12名が決まりました」

神川町議会は平成31年4月29日の議員任期満了に伴い、30日から新体制による4年間の活動がスタートしました。なお、今回の改選により3名の新議員が誕生しました。

● 主 な 内 容 ●

- 平成31年度神川町一般会計当初予算を可決
- 平成31年度特別会計等当初予算を可決
- 平成30年度神川町一般会計補正予算などを可決
- 新しい議会構成が決定

かみかわ町議会だよりはユニバーサルデザインフォントを使用しています。

地域の皆様に寄り添い、 住み良いまちづくりを目指します。

議長就任あいさつ

赤羽奈保子

昭和42年11月11日生



職業 無職
党派 公明党 3回当選
住所 神川町大字元原86番地8

この度、議員皆様方の温かいご推挙により神川町議会議長の要職に就くことになりました。あらためてその責任の重大さを痛感しています。少子高齢化や地域コミュニティの希薄化の問題をはじめ、老朽化した公共施設対策など様々な問題が山積している中、これらの解決のため真正面から向き合ってまいりたいと考えています。今後とも、町民皆様のご代表として信頼される議会となるよう努力してまいります。皆様のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。議長就任のご挨拶とさせていただきます。

副議長就任あいさつ

廣川 学

昭和42年11月2日生



職業 家庭教師
党派 無所属 4回当選
住所 神川町大字八日市825番地3

この度、議員皆様方の温かいご推挙によりまして、副議長の要職に就任させていただきましたことになり、その責任の重大さに身の引き締まる思いです。微力ではありますが、町政発展のため、議長を補佐し、また信頼される議会を目指し、皆さんとともに全力で頑張りたいと思います。今後とも、町民皆様の暖かいご支援、ご指導をお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

四方田繁男

昭和46年5月23日生



会社役員
無所属 1回当選
神川町大字阿久原884番地3

大勢の方々のご支援に心より感謝申し上げます。新しい時代をむかえ、神川町がさらに発展できるよう、皆様の声をお聞きしながら、一生懸命頑張ります。

桜沢 晃

昭和31年5月15日生



無職
無所属 1回当選
神川町大字植竹641番地5

皆様の温かいご支援有難うございました。38年間の行政経験を活かし、皆様の幸せと町の発展を目標に、将来を見据えた住みよい町づくりに取り組みます。

田中 隆久

昭和30年8月8日生



会社役員
無所属 1回当選
神川町大字池田102番地3

この度のご支援に感謝申し上げます。地域の皆様と共に、暮らしやすい町づくりを目指し、提言ができるよう心構えをしながら、全力で取り組んでまいります。

川浦 雅子

昭和37年11月6日生



無職
日本共産党 2回当選
神川町大字肥土494番地

温かいご支援を頂き感謝申し上げます。国保税の引き下げ、児童館整備、農業中小業支援で地域経済活性化等の公約実現で住みやすい町を目指して頑張ります。

野口 弘吉

昭和36年8月22日生



運輸業

無所属 2回当選

神川町大字阿久原317番地

ご支援に感謝を申し上げます。まだ覚える事、学ぶ事が沢山ありますので、常に勉強だと思っています。更に自分自身、切磋琢磨し地域のために頑張ります。

坂本 貴佳

昭和26年4月29日生



農業

無所属 2回当選

神川町大字西軒在家241番地1

この度、当選の栄を得、有権者皆様の期待を双肩にし、住みたいまち神川を実現すべく、山積する諸問題と真摯に向き合い、一生懸命活動させて頂きます。

清水 敏信

昭和26年2月15日生



無職

無所属 2回当選

神川町大字渡瀬578番地

皆様のご支援から感謝申し上げます。「住み続けたい町にするために」また、活気ある町づくりのために頑張りますので、今後も宜しくお願い致します。

堀川 光宣

昭和25年7月16日生



自営業

無所属 2回当選

神川町大字中新里84番地1

皆様のご支援に心より感謝申し上げます。皆様と力を合わせ、共により良い町づくりをするため全力で取り組んで参ります。「活気ある神川町」を目標に。

柴崎 愛子

昭和29年8月24日生



農業

無所属 3回当選

神川町大字新里1852番地

皆様のあつのご支援に心より感謝を申し上げます。初心を忘れることなく、議員として研鑽を積み、町民の皆様のために働けるよう邁進していく所存です。

落合 周一

昭和23年5月1日生



無職

無所属 4回当選

神川町大字関口97番地3

多くの皆様のご支援ありがとうございます。9年間の経験を活かし、これからの4年間も地域のため、そしてさらなる神川町の発展のため全力を尽くします。

初議会（臨時会）の あらまし

改選後、初めての議会が5月7日に開かれ、正副議長、議会運営委員、各常任委員などの議会構成が決まりました。概要は次のとおりです。（敬称略）

議長 赤羽奈保子
副議長 廣川 学

総務経済常任委員会

委員長 野口 弘吉
副委員長 清水 敏信
委員 桜沢 晃
田中 隆久
堀川 光宣
赤羽奈保子

文教厚生常任委員会

委員長 川浦 雅子
副委員長 四方田繁男
委員 坂本 貴佳
柴崎 愛子
廣川 学
落合 周一

議会運営委員会

委員長 落合 周一
副委員長 桜沢 晃
委員 川浦 雅子
野口 弘吉
柴崎 愛子

児玉郡市広域市町村圏組合議会

議員 赤羽奈保子

〃 廣川 学

議会選出監査委員

柴崎 愛子

◎神川町税条例の一部を改正する条例

〔審議結果〕全員賛成 原案可決

◎専決処分の承認を求めることについて

・神川町税条例の一部を改正する条例

・神川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

〔審議結果〕全員賛成 原案承認

◎監査委員を満場一致で同意

柴崎 愛子 氏

神川町大字新里1852番地

昭和29年8月24日生



定例会のあらまし

平成31年第1回神川町議会定例会は、3月4日から14日までの11日間の会期で開かれ、町政に対する一般質問が行われたほか、町長から提案された平成31年度一般会計及び特別会計予算8件、平成30年度一般会計及び特別会計の補正予算6件、条例の改正等10件（うち議員提案1件）、請願1件の計25件の案件が審議されました。

町政に対する一般質問

一般質問は、3月4日に行われ、9名の議員が町長をはじめ町当局の考えについて質問しました。概要は、次のとおりです。



滝沢邦利議員

観光資源の指定・PRについて

「メディアに取り上げられた観光地を含め観光資

源開発と指定・PRの取り組み方について」

「飲食店を見つける旅」5チャンネルの土曜日（19：00～20：45分）で城峯公園の冬桜が取り上げられました。「神川町は、美しい水と緑が広がる自然豊かな町」としてふさわしい神流川流域整備、町は緑に囲まれ、特産品としての梨も地名度が高く、神泉にはカタクリの花が咲き、ゴルフ場沿いの小高い山間で眺める景色は抜群です。また、ヤマキ醸造さんも観光の目玉となり得ます。町では、集客交流の推進、観光情報の発信を掲げていますが、町長の考える町としての観光の位置づけ、観光資源の指定・PRを今後どのように進めるのかについて伺います。

答え 町長

「観光施策を推進します。」

第2次総合計画における観光の推進施策は、集客交流の推進と観光情報の発信です。まず、集客交流の推進になりますが、この数値目標では、10年後の観光入り込み客数を14%上昇させ70万人とすることとしておりますので、関係機関との連携による町の魅力発信に加え、案内板や道路のアクセス整備、駐車場やハイキングコース

ス、水辺のレジャーなど関連施設の整備も必要と考えております。次に、観光情報の発信ですが、数値目標で10年後にホームページのアクセス数を23%上昇させ18万件としており、各種イベントでのPR、ホームページやSNSでの観光情報を発信していくほか、おもてなしパンフレットの効果的な配布、新聞広告掲載やメディアにも情報提供を行います。特に影響の大きなテレビ放映には積極的にアプローチし、魅力あるタイムリーな情報発信により、今後も集客に努めたいと考えています。

ゆるキャラ(神じい・なっちゃん)の活用について

「ラグビーワールドカップ2019日本大会埼

玉・熊谷開催ガイドブックP31・P32に掲載の「ご当地キャラ集結」に神川町のキャラクターを掲載しなかった理由について」

「ラグビーワールドカップ2019日本大会埼玉・熊谷開催ガイドブック」のP31・P32に掲載の「ご当地キャラ集結」の中に神川町のキャラクターが掲載されていません。この世界的に注目されている大会が、熊谷で開催されることを考えると、神川町の知名度向上、発展に大いに役立つキャラクターの掲載を見送ったことは大変残念です。一例をあげれば、城峯公園等への誘導に、のぼり旗や看板に町のキャラクターを描き、活用することで観光地への誘導方法が強化され、集客交流の推進と観光情報の発信に大きな効果があると考えます。ガイドブックに他の市町村と同様に掲載できなかったことは大変残念です。今回、掲載しなかった理由を伺います。

答え 町長

「積極的に事業参加をします。」

ご指摘のガイドブックには、県内のご当地キャラ有志によって結成された「ゆる玉ファイフティーン」が紹介されているところですが、これは、昨年度に埼玉県ラグビーワールドカップ2019大会課と、熊谷市のラグビーワールドカップ2019推進室が中心となり設置された地域振興部会の取り組みとして実施されたものです。

この地域振興部会の設置前に県ラグビー課により参加募集のお話がありました。その時点では活動内容も定まっていなかった状況でした。また、今年度、再度参加募集の際には、この大会を契機とした町の地域振興の効果が図りかねたこと、ゆるキャラを普及するチャンスと捉えていなかったことなどから参加を見送ったものです。現在では、地域振興部会と「ゆる玉ファイフティーン」への参加手続を済ませており、今後の関連イベントにおける市町村PRブースの出店など、積極的に事業に参加したいと考えております。



柴崎愛子議員

安全対策について

「県道22号線に沿った歩道の改修要望について」

中学生議会の質問に「自転車は軽車両なので県道に自転車通行帯をつくってほしい。」というものがありました。県道ですので所管は県であると承知しておりますが、自転車の走行場所の周知及び危険防止の観点から質問します。県道22号線においては、旧国道254号線、元阿保から神泉地区までのうち、渡瀬と神泉総合支所周辺は両側の歩道に、その他の地域は、主に東側の歩道に「自転車通行可」の標識があります。そのような中、歩道の状況を見ますと新里地内のコンビニから役場入り口の交差点の周辺まで、道路東側の歩道の段差がとて多く、舗装も相当に痛んでいる状況です。児童生徒の登下校や夜間の利用は大変危険だと感じています。町は、この状況を町道と同様に把握し、県に改修要望すべきと思いますが町の考えを伺います。

答え 町長

「要望を継続します。」

県道22号上里鬼石線につきましては、毎年県と関係市町で行う事業調整会議などにおいて、歩道の新設や改修の要望箇所を提示し、

道路管理者である県の本庄県土整備事務所へ要望活動を行っております。こうした中で、現在新宿地内において歩道整備が進められているところで、ご指摘の箇所につきましても、町でも現状を把握しており、要望箇所の一つとして挙げています。今後も引き続き要望を継続したいと考えています。

公共施設用地の借用状況について

「借地の金額等について」

町では、公共施設用地として借地している場所が数多くありますが、 m^2 単価が非常に高いものが見受けられます。宅地、雑種地、畑等、地目による算出根拠はないのでしょうか。また、合併時に旧神川町と旧神泉村との借地単価のすり合わせはなかったのでしょうか。さらに、賃貸料の算出根拠として、神川町公有財産の使用料に関する条例がありますが、これは借地に対しては当てはまらないのでしょうか。神川町公共施設再配置計画を推進する上で、借地の金額等について見直しはされないのでしょうか、町の考えを伺います。

答え 町長



「公共施設の適正配置を進めます。」

神川町公共施設等総合管理計画では、町が施設の敷地や駐車場、公園等として、利用している町有地以外の面積は109,303 m^2 で、賃借料の額は、平成30年度当初予算ベースで766万円となっています。ご指摘の合併前の旧神川町と旧神泉村における借地料の取り扱いについて、合併協議会では価格のすり合わせは行われておりませんでした。今後の借地の

取り扱いについては、現在策定中であります公共施設再配置計画の中で借地解消に向けた視点を含め、今後の公共施設のあり方や適正配置の方向性を検討しています。また、計画策定後、引き続き借地利用を継続する場合においても、個々の案件の契約更新時に価格の見直しについて地権者と交渉をしていきたいと考えております。



児童館・公立学童保育について



川 浦 雅 子 議員

「放課後児童の安全対策と子育て世代からの要望について」

子育て世代の要望では「もっと学童利用料が安くならないのか」、「児童館はどうして神川町にないのか」、「神川にないから上里や本庄、児玉を利用している」との声があります。保育園卒園児の数だけ受け皿が必要で、特にひとり親家庭など、所得に応じた利用料で入れる公立学童が神川町には必要です。必要なものは建てていただくことはもとより、現在ある施設を活用することについても町の考えを伺います。

答え 町長



「子どもたちの居場所づくりを考えています。」

児童館につきましては、親子の交流拠点や居場所として児童福祉法に基づいて設置される施設です。以前町でも既存施設を活用することを検討しましたが、国が定める基準を満たすことが難しく、断念

をした経緯があります。加えて、現在4カ所の民間学童保育に事業委託をしていることから、民業の圧迫という観点からも設置は困難であると考えています。また、学童保育の利用にかかわらず子どもたちが安全に楽しく過ごせるような「居場所づくり」について、既存施設を最大限活用するとともに、教育委員会と連携して子育て施策の充実・強化に努めてまいりたいと考えています。

一般家庭のブロック塀について

「防災、減災に向けた取り組みについて」

昨年発生した大阪府北部地震で、女子児童が倒壊したブロック塀の犠牲となる痛ましい事故を受けて、神川町も通学路の点検を行ったようですが、危険箇所が見つかったても、所有者には中々伝えられないようです。所有者が高齢化、費用面等で撤去や改築に踏み出せないのが現実です。是非、一般家庭のブロック塀撤去等、補助制度を創設していただきたい。

答え 町長



「危険箇所の解消に努めます。」

一般住宅のブロック塀の中には、老朽化などにより倒壊のおそれがあるものや、交通安全や防犯上、

問題があるものがあります。そのような中、通学路については、教育委員会が点検を実施し、危険箇所については、子どもたちに避けて通るなどの指導も行っております。今後、倒壊のおそれがあるブロック塀の所有者などに対し、撤去または再築造工事に係る費用の補助制度を創設して危険箇所解消に努めたいと考えています。

学校教材費について

「保護者負担軽減について」

日本国憲法第26条にある「義務教育はこれを無償とする」この観点から、そのものがなければ授業が成り立たないのであれば、教材費（保護者負担）ではなく、教育費（公費）ではないですか。また、町内4校で、給食エプロンや体育着、授業の実験キット等、業者選びの違い

で同学年でも額に差が出ます。憲法の理念に沿った保護者負担額にしていたいただきたい。また、児童が現金を学校に持つていくことも問題ですので、改善していただきたい。

答え 教育長



「集金の方法や平均化を研究します。」

児童生徒が共通して使用する教材等については公費とし、個人で使うドリルやワークブックなど授業の中で直接書き込んで使用するもの等については、他に使うこと

ができませんので学級費として各学級で集金しています。そして学級費で購入するものは、各学校で重点的に取り組む内容によって購入するものが違います。これにより、各学校の特徴が出てくると考えており、他校でも同様の対応をおこなっているものです。また、ご指摘の集金につきましては、月毎に大きな差とならないよう平均化を図ることや、集金方法について研究したいと思っています。



坂本貴佳議員

神川町の観光行政について

「神川町の認知度向上施策、観光に係る環境整備について」

約3年前、県内における「神川町」の知名度について質問し、その低さに驚いたが、町は地域の活性化に繋がる知名度向上対策を立て、広報活動等を進めるとの回答を得て安心しましたが、その状況は3年

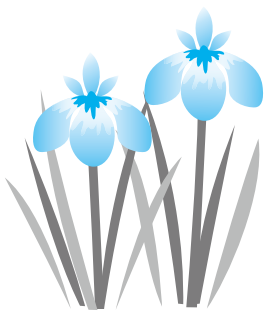
間での様に推移しているのか、また今の神川町の観光環境（道路状況・誘導看板・観光案内板）を見ると、数年現状維持の域を脱していない。東京から高速道路で約1時間の地の利・豊かな自然・多様な観光資源を持つ神川町の特徴を生かした、地域活性化策として観光環境整備は重要である。町の将来を見据え、人口減少の波に飲み込まれない様に現状を打破する観光環境整備の今後の方針・計画をお聞きます。

答え 町長

「PR活動を積極的にしています。」

町の認知度向上施策につきましては、イベントをはじめ観光案内等をSNSやホームページへの掲載し、新聞社などへの情報提供を積極的に行っていました。そのシーズンに合わせた例年のPR活動のほか、新たにFM群馬でのラジオ広告やスポーツ新聞への広告掲載等を実施したところです。さらに、観光パンフレット「おもてなし」の東京での全国町村イベントや高速道路のサービスエリア、埼玉県庁、本庄早稲田駅等での配布に加え、外国語版を作成し、東京国際空港内に配置するなど、配布会の拡大に努めています。これらの効果もあり、町内の主要な観光施設利用者は増加をしているところです。今後も有効なPR活動などを積極的に行ってまいります。また、観光環境整備ですが、

上里町でスマートインターから藤武橋までの間、リバーサイドロードの建設が計画されています。完成後には集客、観光のみならず、町民の皆さんにとっても利便性の向上が図られるものと考えています。町でも、この道路の開通を踏まえ、藤武橋から新宿までの町道や農免道路を重要な道路と位置づけるとともに、城峯公園までアクセスできる林道も、国の交付金を活用して整備してまいります。加えて、誘導案内板等を、近隣市町や関係団体との連携を図りながら設置することも検討しています。



町内の教育行政について



廣川 学 議員

「中学校の教育方針及びイベントへの参加、各学校に対する地域の協力、国語力向上について」

現在、神川中学校で行われている英語検定は、近年の英語の重要性を鑑みれば、受験者をふやす方向であるべきだと思いますが、町の考えを伺います。また、イベントへの参加については「かみかわ駅伝」に中学生チームが参加することについては、現場ではどの選手も好意的な意見ですので、部活動の一部として参加を進めていくのかを伺います。また、町内の学校には各地域の方々の協力は絶大で、資源回収など郡市内でも破格の金額になります。その資源回収を町内で一斉に実施することはできないのか伺います。また、国語力の向上ですが、学力向上に国語力は非常に重要です。現在、町で取り組んでいる国語力向上対策について伺います。

答え 教育長

「教育行政の推進を図ります。」

英語検定については年間3回あり、本部が決める本会場と、学校ごとに受けることができる準会場

と分かれています。神川中の場合、1・2回目は本会場の神川中学校で実施していますが、3回目は、3年生の受験の時期と重なること等により、一定数の受験者が集まらず、試験を実施しなかったとのこと。英語については、小学校での英語教育も始まり、今後は、かなり力を入れたいと思いますので、その小学生が中学に上がるこ

とで受験者も増えると考えています。次に駅伝についてですが、陸上部だけでなく他の部にも参加してもらいましたが、町の体育祭や文化祭に対しても、可能な範囲で参加を働きかけたいと思っています。次に、資源回収の一斉実施ですが、資源回収の日程を決めるのに、保育所や幼稚園の行事や、大字の資源回収と重複しないようにしなければなりません。そのような中、丹荘、青柳、渡瀬、神泉地区で一斉に資源回収を実施するように調整することは、困難である

と考えています。国語力については、新しい事業として、公民館の児童書や子ども向けの本を保育園や幼稚園に一斉に貸し出し、読み聞かせしてもらおう運動を計画しています。国語力の向上は全ての教科の根幹ですので、就学前から親を通して子どもの力を伸ばしていきたいと思っています。また、学校の授業の中で俳句や詩の暗唱等を行っておりませんが、それに加えて、作文や俳句等のコンテストにも積極的に参加するなど、校長会等で話をしたいと思っています。

スポーツ少年団に対する町の考え方について

「スポーツ少年団の情報や活動に接する機会の提供について」

少子高齢化の影響もあるのか、所属する人数が減少しているように感じますが、町では補助金などの応援をしていると思いますが、少年団をどのように考えているのでしょうか。

さらに、現在は年度の切りかわりの時に「お知らせ」のようなチラシが配られているのですが、少年団活動に尽力されている方に話を伺うと、「子どもたちも少なくなり、さらにスポーツに限らず選択肢も増えているので、少年団に入る子が減っているという状況がある」といいます。確かにそのような機会はないと思いますが、町の考え方を伺います。

答え 教育長

「スポーツ少年団活動の情報を増やします。」

スポーツ少年団の活動は、子どもたちの健全な育成を図る上で、非常に重要だと考えています。特に少子化が進み中々人数が集まらない状況ではありますが、うまく子どもたちが参加できるように形

をとりたと思っています。現在では「お知らせ」だけでなく、ご指摘のように各種目ごとに説明会や体験してもらおう等の活動について、指導者や体育協会関係者に働きかけを行いたいと思います。



野口弘吉議員

町の防災施設について

「消防団施設の整備等について」

消防団神泉地区の第7分団につきましては、消防車両の車庫があるだけで、他の分団のように打ち合わせをする場所やトイレもありません。夜警の計画や特別点検の操法員の調整等を行う場合、第6分団の詰所を兼用しながら実施している状況で、使用の際にはその都度調整が必要になります。そのような中、丹荘、青柳、渡瀬地区等の詰所については新しく整備され、各地域の防災活動の拠点として活用されており、神泉地区とは大きな差が生じています。住民の身体、生命、財産を守るという、消防団員共通の目的を踏まえ、少しでも活動しやすい環境を整備することも、安全安心のまちづくりを進める上で重要と考えますが、今後の整備計画等について町長に伺います。

答え 町長

「今後の分団編成を考慮して整備します。」

議員ご指摘のとおり、現在消防団の施設である各分団の詰所及び車庫につきましては、第1分団から第5分団まで建てかえが完了し、それぞれの地域における防災活動の拠点として活用されているところです。そのような中、神泉地区の施設整備についてですが、現状

を踏まえた第6分団、第7分団の今後の編成等の計画も検討されているところですので、その編成等を明確にした後に、詰所及び車庫の配備といった具体的な施設整備を検討していきたいと考えております。



清水敏信 議員

町政の方向性等について

「一年が経過した状況を踏まえた成果や課題、今後の方向性等について」

山崎町長が就任され約1年、神川町政を担われてきた訳ですが、現在までの成果や今後の課題などをお聞かせいただきたいと思っております。特に、今定例会で審議される平成31年度予算については、平成30年度予算とは異なり、町長の考えを形にするための予算編成と理解していただきますので、新年度に向けての山崎町政の方向性について、ハード、ソフト両面からの考えを伺います。そして、町長の考えを地域住民の皆さんにどのように伝え、理解を得ていくのかについてもお伺いします。

答え 町長

「町民の皆様のご意見をお聞きます。」

第1に進めなければならぬと考えていることは、「安心子育てのまちづくり」で、1月の新庁舎への移転とともに、子育て窓口に保健師を配置し、安心した子育てへのサポート体制の確立に努めているところとあります。また、以前より課題となっていた保育所等の建てかえについては、老朽化が激しく、早急な対応が必要で丹荘保育所の建設に向け、事業費を計上いたしました。さらには、こども医療費無償化の年齢拡大に加え、小中学生全員を対象にした給食費の無償化を新たな事業として実施

したいと考えています。また、学校施設のICT環境整備では「楽しく学べる教育のまちづくり」に向け、事業を実施したいと考えています。福祉施策につきましては、医療と介護を一体的に提供するために、在宅医療・介護連携を推進し高齢者等の支援体制の構築に努めます。事業の実施に際しましては、町民の皆様のご意見やご要望をお聞きするとともに、広報ホームページ、また住民説明会等を通してお知らせしていきたいと考えています。



福島康弘 議員

水道事業について

「民営化について」

昨年12月の改正水道法の成立等によって、コンセッション方式が導入されやすくなりました。これによって、水道自体の所有権は自治体で保有しつつ、運営を民間企業に一定期間委託することで、民間主導で施設の設計、建設、維持管理等に資金と企業ノウハウを活用することによって、効果的な公共サービスを行うというものです。今後、水道事業へ民間事業者が参入することが増えることが予想されますが、町としての考えを伺います。

答え 町長



「水道事業の民営化は考えていません。」

今回の法改正は、水道施設等の老朽化、人口減少による経営状況の悪化など、小規模で脆弱な水道事業者では水道サービスを継続できないなどの深刻な課題に直面している中、水道基盤強化を図

り、将来にわたって安全な水を安定的に供給するための制度改正です。ご質問の民営化ですが、コンセッション方式が導入可能となったことで、海外では水質悪化や料金の高騰などに加え、コンセッション方式導入後に、また再公営化されるなどの失敗事例などもあるようです。町といたしましては、施設の管理運営方法や水道料金など、さまざまな検討課題があるため、現段階での導入は考えておりません。



赤羽 奈保子 議員

フレイルについて

「フレイルの予防と啓発について」

「フレイル」とは、加齢により心身機能が低下して虚弱になり、要介護になる可能性が高い状態をいいます。多くの方が健康状態からフレイルの状態を経て要介護状態になると言われています。一方で、適切な介入支援により生活機能の維持向上につながり、要介護になるのを防ぐことができます。町では、体操教室や料理教室、なっちゃんカフェ等、多彩なメニューを通じて、つながる機会を提供いただいています。しかし、ここに参加しているのは、町全体の高齢者のほんの一部です。介護を予防し健康で暮らすために、これらへの参加やフレイル予防の啓発など、どのようにしていくのか。また、高齢者だけでな

答え 町長



「重要性を啓発し、予防に努めます。」

「フレイル」という言葉は、私自身この質問によって初めて聞きました。これは、日本老年医学会が提唱した高齢期の衰弱、虚弱、脆弱などにかわる新しい名称として使われるようになったものです。この状態を放置することが、健康や生活機能を一気に低下

く子世代、孫世代へのフレイルの啓発を行うことで、広い目で予防を行っていけると考えますが、町の考えを伺います。

させ、最終的には自立した生活が送れなくなり、要介護状態へと進んでいくと言われています。このフレイル予防のため、社会参加、運動、食生活をバランスよく日常生活に組み込ませる事業の拡充を図っているところです。今後、最終的な健康長寿を実現するために、高齢者世帯訪問等も実施し、予防支援を継続したいと考えています。合わせて、フレイル予防の意味と重要性を、高齢期前の成人期の方へも広く町の事業等を通じて啓発したいと考えています。

介護保険事業について

「介護保険の制度改正における高齢者の支援について」

昨年の介護保険の改正で、生活援助の回数が一定以上になる要介護者に回数の制限を定め、一定以上になる要介護者については、ケアプランの提出と地域ケア会議で支援の必要性についての検討が行われることになりました。今までと同じ援助が受けられないと在宅での生活が厳しくなる方も出てくると思います。また、身体介護で足りない部分を補うとなると、倍以上の利用料を払わなくてはならなくなったり、今までと同じサービスを受けたい場合は、実費の料金を払わなくてはいけなくなるなど、かなりの負担になります。神川町で暮らす高齢者の方の生活を守るために、見守り体制や生活サポートなどの支援の充実が必要と考えますが、町の考えを伺います。

答え 町長

「検証と説明を大切にします。」

介護保険制度改正により、訪問介護の生活援助中心型サービスについては、利用者の自立支援、重度化防止や地域資源の有効活用等の観点から、通常の利用回数からかけ離れた利用回数となっているケアプランについて、町への届け出が義務づけられました。そして、地域ケア会議で届け出られたケアプランについての検証を行い、必要に応じてケアマネジャーに対してケアプランの是正を促すこととなっており、今回の制度改正は、一定回数以上となったことをもって利用制限を行うものではありません。ケアプランの変更には、利用者の同意を得ることが必要であり、変更を強制することはできませんので、本人、家族に説明し、理解を得ていく必要があります。多くの高齢者は、介護が必要になっても自宅で暮らし続けたいという意向を持っていますので、住みなれた地域でそれまでと変わらない生活を続けることができるような地域の仕組みづくりに努力したいと思っています。

※一般質問の全文は、議会事務局の会議録で閲覧することが出来ます。また、町ホームページでも閲覧出来ます。

議案審議の結果

3月定例会は、平成31年度一般会計及び特別会計予算ならびに平成30年度一般会計及び特別会計の補正予算、条例改正などが審議され、それぞれ原案どおり可決されました。

当初予算関係

詳しくは、広報4月号をご覧ください。

◎平成31年度神川町一般会計予算
予算の総額を歳入歳出それぞれ56億4,400万円と定めるもの。

〈審議結果〉賛成多数 原案可決

◎平成31年度神川町国民健康保険特別会計予算
事業勘定は歳入歳出それぞれ15億1,040万円、施設勘定は歳入歳出それぞれ1億771万2千円と定めるもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成31年度神川町後期高齢者医療特別会計予算
予算の総額を歳入歳出それぞれ

1億3,849万円と定めるもの。
〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成31年度神川町介護保険特別会計予算
予算の総額を歳入歳出それぞれ11億4,565万1千円と定めるもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成31年度神川町営バス事業特別会計予算
予算の総額を歳入歳出それぞれ904万7千円と定めるもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成31年度神川町観光事業特別会計予算
予算の総額を歳入歳出それぞれ2,110万9千円と定めるもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成31年度神川町公共下水道事業特別会計予算
予算の総額を歳入歳出それぞれ1億5,930万4千円と定めるもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成31年度神川町水道事業会計予算
第3条予算の水道事業収益を3億2,391万6千円、水道事業費用を2億8,977万3千円と定め、第4条予算の資本的収入

を1444万円、資本的支出を1億2,944万7千円と定めるもの。
〈審議結果〉全員賛成 原案可決

補正予算関係

◎平成30年度神川町一般会計補正予算(第3号)
歳入歳出それぞれ3億2,446万7千円を減額し、総額を6億8,641万2千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目
町税 1,764万9千円
地方交付税 4,184万1千円

国庫支出金 5,810万8千円
県支出金 995万9千円
繰入金 1億3,113万1千円

繰越金 5,035万5千円
諸収入 403万2千円
町債 2億4,220万円

○歳出に追加された項目
〈総務費〉 6,717万6千円
〈民生費〉 8,329万8千円
〈衛生費〉 1,635万9千円
〈農林水産業費〉 1億63万4千円

〈商工費〉 67万2千円
〈土木費〉 1億1,744万7千円

〔平成31年3月定例会〕

〔消防費〕 ▲586万5千円
 〔教育費〕 ▲1,092万2千円
 〔公債費〕 ▲2,109万6千円
 〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

◎平成30年度神川町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

【事業勘定】
 歳入歳出それぞれ1億536万9千円を増額し総額を16億6,027万6千円とするもの。

○歳入に追加された項目
 県支出金 1,845万2千円
 繰入金 ▲3,072万7千円
 繰越金

1億1,409万2千円

諸収入 355万2千円

○歳出に追加された項目
 総務費 ▲121万4千円
 保険給付費 893万6千円
 保健事業費 ▲176万2千円
 基金積立金

9,940万9千円

【施設勘定】
 歳入歳出それぞれ170万円を減額し歳入歳出予算の総額を1億738万円とするもの。

○歳入に追加された項目
 診療収入 ▲150万円
 使用料及び手数料 5万6千円
 繰入金 ▲466万8千円
 繰越金 441万2千円

○歳出に追加された項目
 総務費 ▲70万円

医業費 ▲100万円
 〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

◎平成30年度神川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ26万2千円を減額し総額を1億2,829万1千円とするもの。

○歳入に追加された項目
 後期高齢者医療保険料

繰入金 ▲85万5千円
 繰越金 ▲56万3千円
 繰入金 115万6千円

○歳出に追加された項目
 総務費 ▲26万2千円

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

◎平成30年度神川町介護保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ1,791万5千円を減額し総額を11億2,108万7千円とするもの。

○歳入に追加された項目
 保険料 749万8千円
 国庫支出金 ▲1,100万1千円

支払基金交付金 ▲1,094万9千円
 県支出金 ▲244万4千円
 繰入金 ▲101万9千円

○歳出に追加された項目
 総務費 ▲151万4千円
 保険給付費 ▲1,420万円
 地域支援事業費 ▲220万1千円

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

◎平成30年度神川町営バス事業特別会計補正予算(第2号)

歳入項目の財源内訳を変更するもので、歳入歳出の総額に変更なし。

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

◎平成30年度神川町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ1,369万4千円を減額し総額を1億3,532万1千円とするもの。

○歳入に追加された項目
 繰入金 ▲559万4千円
 町債 ▲810万円

○歳出に追加された項目
 総務費 ▲300万円
 事業費 ▲1,044万7千円
 公債費 ▲24万7千円

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

◎文教厚生常任委員会

件名 国に対して「放課後児童クラブの職員配置基準等の堅持及び放課後児童支援員等の処遇改善を求める意見書」の提出を求める請願

要旨 人材確保のための基準緩和は安全性の低下に

請願

人事関係

◎人権擁護委員候補者を同意…任期満了となる人権擁護委員の再任について、町長から同意案が提出され、満場一致で同意されました。

氏名	住所	生年月日
四方田 勉 氏	神川町大字上阿久原559番地	昭和23年9月22日

◎教育委員会委員を同意…古川征治氏の任期満了に伴い、新たな教育委員会委員の任命について、町長から同意案が提出され、満場一致で同意されました。

氏名	住所	生年月日
川野 順也 氏	神川町大字小浜595番地1	昭和56年6月17日

請願者

つながる。加えて、支援員の確保や質の向上には処遇の改善が必要である旨の意見書の提出を求めるもの。

NPO法人

梨の実クラブ

職員長 恩田 唯

条例関係等

件 名	内 容	審議結果
神川町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	国家公務員への措置等を踏まえ、所要の改正を行うもの	○
神川町事務分掌条例及び神川町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	下水道に関する事務を建設課から水道課に移管し、併せて課の名称を上下水道課とするもの	○
神川町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの	○
神川町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの	○
神川町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	外国青年招致事業を活用した外国語指導助手の招致に伴い、所要の改正を行うもの	○
神川町水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例	学校教育法の一部を改正する法律及び水道法施行規則の一部を改正する省令の施行に伴い、所要の改正を行うもの	○
神川町国民健康保険診療所条例を廃止する条例	平成31年度末をもって神川町国民健康保険診療所の運営を終了することに伴い、診療所条例を廃止するもの	△
神川町議会委員会条例の一部を改正する条例	水道課の名称が上下水道課に変更されることに伴い、所要の改正を行うもの	議員提案 ○

※審議結果 ○全員賛成(可決) △賛成多数(可決) ×賛成少数(否決)

議 会 日 誌

※本日誌は、主に議長出席の行事を掲載しています。

15 14 13 8 6 1 29 28 25 23 22 20 18 17 16 13 10 9 4 日 児玉工業団地工業会新春 議会運営委員会 視察研修会 県北地域町村議会議長会 合同研修会 埼玉県町村長・正副議長 消防審議会 特別委員会、議会活性化 全員協議会、議会活性化 新庁舎開庁式 特別委員会 青柳保育所地域交流会 丹荘保育所地域交流会 埼玉県町村議会議長会正副会長会議 成人式典 埼玉県町村議会議長会視察研修会 こだま青年会議所新年名刺交換会 神流湖整備協会評議員会 児玉郡町村会賀詞交歓会 第14回かみかわ駅伝 商工会・法人会賀詞交歓会 利根グリーンセンター運営委員会 臨時議会運営委員会 国道462号バイパス促進 埼玉県要望 児玉郡町村議会議員研修(本庄市議会交流)												27 26 25 22 20 18 15 14 12 11 8 6 5 4 28 26 22 21 20 19 日 議会 総合計画審議会総合戦略 青柳、丹荘保育所卒園式 合議定例会 児玉郡市広域市町村圏組合 埼玉県町村議会議長会定期総会 国保運営協議会 全員協議会、議会活性化 特別委員会 第1回定例議会(一般質問等) 第1回定例議会(条例、補正、当初予算説明等) 第1回定例議会(当初予算一般計説明等) 平成31年度新規事業研修会 文教厚生常任委員会 総務経済常任委員会協議会 第1回定例議会(条例、補正、当初予算採決等) 神川中学校卒業式 社会福祉協議会理事会 神川幼稚園卒園式 丹荘、青柳、渡瀬、神泉小学校卒業式 神流湖整備協会評議員会 児玉郡町村議会役員会 児玉郡市広域市町村圏組合 合議定例会 青柳、丹荘保育所卒園式 総合計画審議会総合戦略														賀詞交歓会 埼玉県町村振興協会評議員会 後期高齢者医療広域連合 会議 児玉郡市広域市町村圏組合 合議定例会 埼玉県町村議会議長会定期総会 国保運営協議会 全員協議会、議会活性化 特別委員会 第1回定例議会(一般質問等) 第1回定例議会(条例、補正、当初予算説明等) 第1回定例議会(当初予算一般計説明等) 平成31年度新規事業研修会 文教厚生常任委員会 総務経済常任委員会協議会 第1回定例議会(条例、補正、当初予算採決等) 神川中学校卒業式 社会福祉協議会理事会 神川幼稚園卒園式 丹荘、青柳、渡瀬、神泉小学校卒業式 神流湖整備協会評議員会 児玉郡町村議会役員会 児玉郡市広域市町村圏組合 合議定例会 青柳、丹荘保育所卒園式 総合計画審議会総合戦略														2月 1月 3月   																					
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--